

学校関係者評価報告書

自己点検・評価報告書に基づき検討を行い、学校関係者評価委員会の議を経て、次のとおり評価した。

(評価委員)

安田委員 (大阪成蹊学園) 上山委員 (大阪高等学校) 酒井委員 (さかい鍼灸院・卒業生)
 矢野委員 (教員養成学科長) 安藤委員 (鍼灸学科長) 三澤委員 (柔整学科長)
 田口委員 (教務部長) 藤井委員 (事務部長)

(評価区分)

5 極めて適切に行われている 4 適切に行われている 3 普通
 2 適切にややかける 1 適切でない NA あてはまらない

評価項目		評 価	
基準 1 教育理念・目的・育成人材像等			
1-1	理念・目的・育成人材像は定められているか	適切に定められている	4
1-2	学校の特色はなにか	臨床実習教育を重視していることは理解できるが、具体的に特色を列挙し、明確に打ち出すべきである	3
1-3	学校の将来構想を抱いているか	厳しい現状の中ではあるが、中長期計画等を具体的に定め、記載すべきである	3
基準 2 学校運営			
2-4	運営方針は定められているか	明確に定められている	5
2-5	事業計画は定められているか	明確に定められている	5
2-6	運営組織や意思決定機能は、効率的なものになっているか	学院規程に基づき、円滑な運営に取り組んでいる	5
2-7	人事や賃金での処遇に関する制度は整備されているか	平成25年度から人事考課制度に取り組まれている。今後の整備に期待したい	3
2-8	意思決定システムは確立されているか	学院組織及び運営規則に基づき、明確に実施されている	5
2-9	情報システム化等による業務の効率化が図られているか	LAN構築により、業務の迅速化、効率化が図られているが、情報の共有化をすべきである	3
基準 3 教育活動			
3-10	各学科の教育目標、育成人材像は、その学科に対応する業界の人材ニーズに向けて正しく方向付けられているか	平成25年度にカリキュラムの問題点を取り上げ教育課程の変更を視野にいれ、検討を進めてい	3

		る。教育目標、人材育成像についてこの新教育課程案を基に、再構築しなければならない	
3-11	各学科の教育目標、育成人材像を構成する知識、技術、人間性等は、業界の人材ニーズレベルに照らして、また学科の教育期間を勘案して、到達することが可能なレベルとして、明確に定められているか	シラバスに基づき、各科目の教育目標は定められている。科目間の連携を意識し、学科の育成人材像について、今後、業界等と連携して、具体的に列挙すべきである	3
3-12	カリキュラムは体系的に編成されているか	カリキュラムは、社会のニーズに基づき、学年毎に体系的に編成されている	4
3-13	学科の各科目は、カリキュラムの中で適正な位置づけをされているか	基礎から応用へと段階的に適正に位置づけがされている	4
3-14	授業評価の実施・評価体制はあるか	授業評価アンケートを実施し、評価体制は整備されているが、非常勤講師の担当科目についても実施すべきである。	3
3-15	育成目標に向け授業を行うことができる要件を備えた教員を確保しているか	現在の経営状況において新たな人材の確保は難しい。このことから、FD、SD活動を積極的に進め、意識改革、人材養成が必要である	3
3-16	成績評価・単位認定の基準は明確になっているか	学則に基づき、明確になっている	5
3-17	資格取得の指導体制はあるか	国家試験を意識した科目開設が行われ、成績不良者に対する個別指導に取り組んでいる	4
基準4 教育成果			
4-18	就職率(卒業者就職率・求職者就職率・専門就職率)の向上が図られているか	就職に対するアンケートを定期的実施し、意識の向上に努めている。また、就職説明会、就職相談会を実施し、向上に取り組んでいる	3
4-19	資格取得率の向上が図られているか	成績不良者に対する個別指導に取り組んでいる	3
4-20	退学率の低減が図られているか	クラスアドバイザー、学生課を中心に出席・成績状況等の把握に努め、指導にあたっているが、大きな減少がみられない	3
4-21	卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか	一部の卒業生、在校生について、学校ホームページ、学校案内等で取り上げている。卒業生の動向を把握すべきである	3
基準5 学生支援			
5-22	就職・進学指導に関する体制は整備され、有効に機能しているか	相談・指導体制は整備されているものの、出口戦略と教員の専門性の一体化と活性化を図る必要がある	3
5-23	学生相談に関する体制は整備され、有効に機能しているか	クラスアドバイザーを中心に学生相談にあたっているが、充分とはいえない	3

5-24	学生の経済的側面に対する支援が全体的に整備され、有効に機能しているか	奨学金制度が周知徹底され、逐次、相談に対応できている	3
5-25	学生の健康管理を担う組織体制があり、有効に機能しているか	附属治療所を開設しており、健康管理体制は整備され、機能している	4
5-26	課外活動に対する支援体制は整備され、有効に機能しているか	課外活動は比較的少ないが、学生に対する支援体制はできている	3
5-27	学生寮等、学生の生活環境への支援は行われているか	学生寮はなく、信頼のおける賃貸業者を紹介し、生活環境への支援を実施している	3
5-28	保護者と適切に連携しているか	未成年者の保護者に対し、成績通知書を発送し、連携に取り組んでいる	3
5-29	卒業生への支援体制はあるか	同窓会組織が整備され、卒後研修会等を定期的 に実施し、生涯学習に取り組んでいる	5
基準6 教育環境			
6-30	施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか	委託業者に依頼に、施設等は適切に整備されている	4
6-31	学外実習、インターンシップ、海外研修等について十分な教育体制を整備しているか	整形外科病院、老健施設等、卒業生との連携を行い実施しているが、施設数が充分でない	3
6-32	防災に対する体制は整備されているか	明確な体制を整備し、職員全員がとりくむべきである	3
基準7 学生の募集と受け入れ			
7-33	学生募集活動は、適正に行われているか	予算内において、学生募集活動は行われているが、定員は充足していない	3
7-34	学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか	教育成果を国家試験合格率として、公表している	3
7-35	入学選考は、適正かつ公平な基準に基づき行われているか	入試管理会議を経て、適切かつ公正に実施されている	5
7-36	学納金は妥当なものとなっているか	社会状況を鑑み、学納金の減免制度を実施し、対応している	3
基準8 財務			
8-37	中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか	定員を充足していない状況から、財務基盤は安定しているとはいえない	3
8-38	予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか	予算、収支計画は役員会を経て、有効かつ妥当なもので計画されている	4
8-39	財務について会計監査が適正におこなわれているか	適正に会計監査が行われている	5
8-40	財務情報公開の体制整備はできているか	学院としての財務情報がホームページにおいて公開されている	5

基準 9 法令等の遵守			
9-41	法令、設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか	法令等を遵守し、適正な運営がなされている	5
9-42	個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか	規程を設けて、対応している	4
9-43	自己点検・自己評価の実施と問題点の改善に努めているか	自己点検・評価を実施されているが、問題点に対する改善に努めなければならない	3
9-44	自己点検・自己評価結果の公開はしているか	平成24年度分から公開されている	4
基準 10 社会貢献			
10-45	学校の教育資源や施設を活用した社会貢献を行っているか	講師の派遣、市民公開講座等を積極的に実施されている	4